



令和 元年 8 月

令和元年度 第 1 回 NST 勉強会 ～食欲低下 薬を見直してみよう～

今回は、令和元年 6 月 26 日に開催された第 1 回 NST 勉強会の内容をご紹介します。

はじめに

現在 NST 介入を行っている患者の中には「食欲不振」「食事摂取のムラ」が問題となっている場合が多くあります。高齢者は多数の薬剤を服用していることが多く、食事摂取不良の原因となっている可能性のあるケースもあります。

症例紹介

<症例 1>アミティーザ®服用中に腸管ガス貯留を認め、アミティーザ®による腹部膨満が原因で食欲不振を来した可能性が考えられた。アミティーザ®中止後、食事摂取量の増加が認められた。

<症例 2>ロゼレム®、ベルソムラ®服用中であり日中の覚醒度が不良であり摂食が進まない状態であった。ロゼレム®、ベルソムラ®中止後覚醒度は上昇し食形態がアップでき、食事摂取量も増加した。

食欲不振につながる薬剤

1.副作用が原因となる薬剤

薬剤の副作用には食欲不振につながるものがあります。最小限の使用に止めたり、可能であれば中止や減量、他の薬剤への変更により改善することもあります。また副作用の起きやすい時期についても薬剤により異なることを知っておくことも大切です。

- * 消化管障害：NSAIDs、ビスホスホネート製剤
- * 悪心、嘔吐：オピオイド、抗がん剤、SSRI、ジギタリス製剤、鉄剤
- * 便秘：抗コリン薬、オピオイド、抗がん剤
- * 下痢：抗がん剤、抗菌薬
- * 味覚障害：苦みのある薬剤、キレート剤

2.効き過ぎが原因となる薬剤

高齢者は生理機能の低下により薬物の代謝能の低下や排泄能の低下を来します。それにより常用量であったり以前から増量していないにもかかわらず強く薬効が現れることがあります。普段の患者さんの様子をよく見ておくことが大切です。

* 睡眠導入剤

プロチゾラム、フルニトラゼパム、ゾピクロン、ゾルピデム、ベルソムラ®、ロゼレム®等

* 抗不安薬

エチゾラム、ソラナックス®、ワイパックス®等

* 抗精神病薬

リスパダール®、エビリファイ®、セレネース®等

* 降圧薬

アムロジピン、アジルバ®、ザクラス HD®等

さいごに

食欲不振の原因は薬剤、病態、環境等個人により様々です。服用中の薬剤が原因となっている可能性があることも意識し、疑わしい場合は NST や病棟薬剤師にご相談ください。

今回の勉強会には 41 名の職員の方にご参加いただきました。ご参加いただきありがとうございます。今後とも NST 活動へのご協力をお願いいたします。

学術集会開催のお知らせ

第 41 回日本臨床栄養学会総会・第 40 回日本臨床栄養協会総会 第 17 回 大連合学会が名古屋ガーデンパレスにて開催されます。この機会に奮ってご参加ください。

ライフステージを考慮した臨床栄養学の発展

○—世代をつなぐ&地域をつなぐ 食と栄養—○

<p>2019年 会期 10月26日土 ▶ 27日日</p>	<p>会場 名古屋ガーデンパレス 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目11番13号 TEL 052-957-1022</p>
<p>第41回 日本臨床栄養学会総会 会長 葛谷 雅文 名古屋大学大学院医学系研究科 教授</p>	<p>第40回 日本臨床栄養協会総会 会長 塚田 定信 大阪市立大学医学部附属病院栄養部 保健主幹</p>